

第3章 高齢者基礎調査

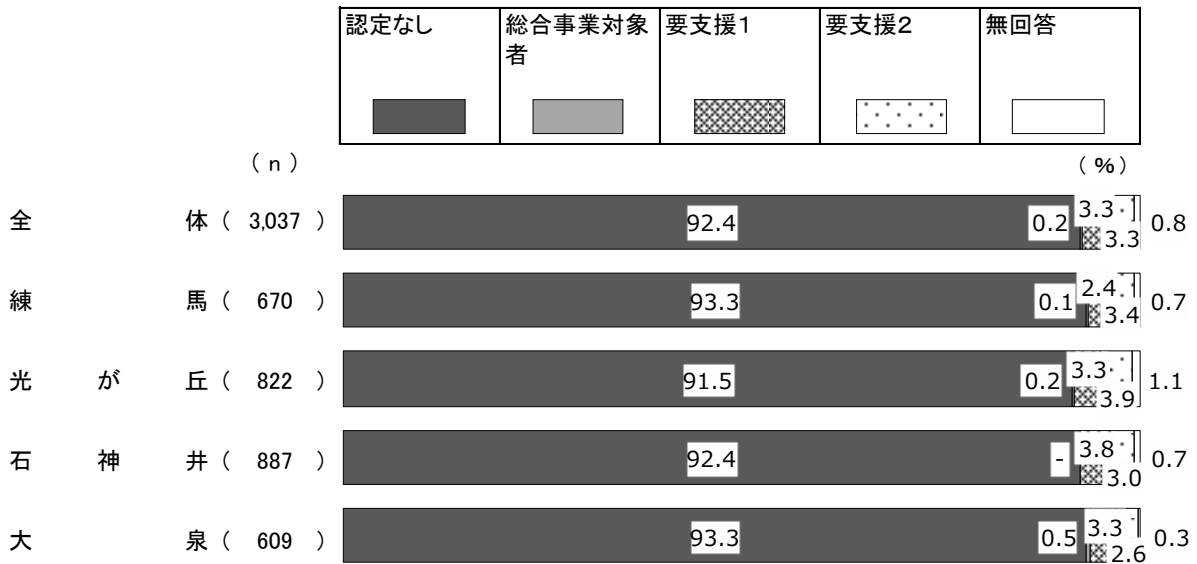
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

1. 回答者の基本属性

(1) 要介護区分

○全体では、「認定なし」が92.4%、「総合事業対象者」が0.2%、「要支援1」が3.3%、「要支援2」が3.3%となっている。

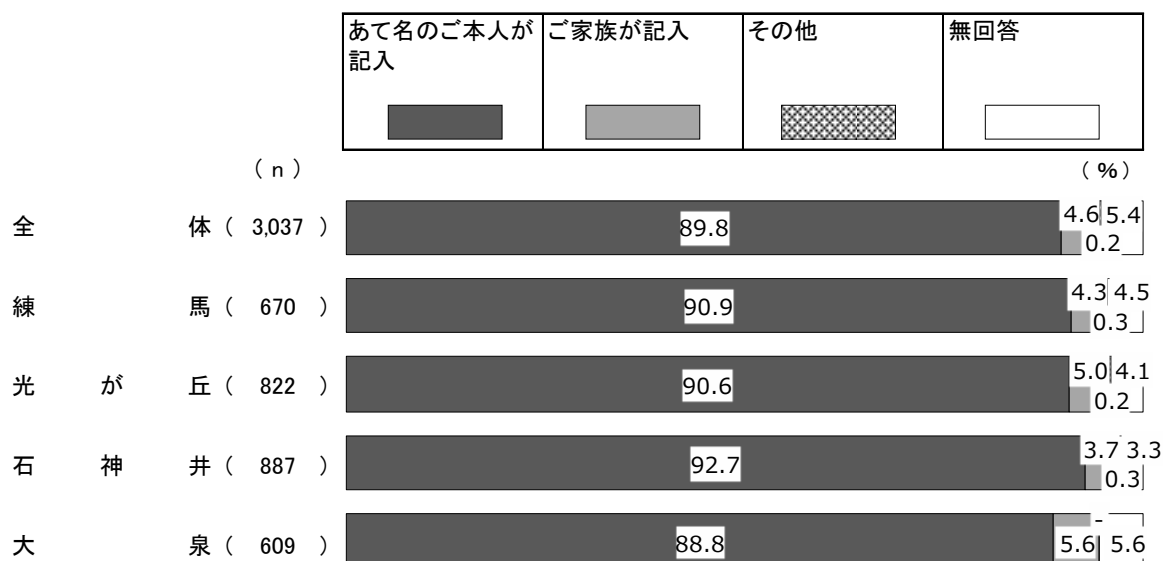
○いずれの地区でも、「認定なし」が9割台となっている。



(2) 調査票の記入者

○全体では、「あて名のご本人が記入」が89.8%となっている。

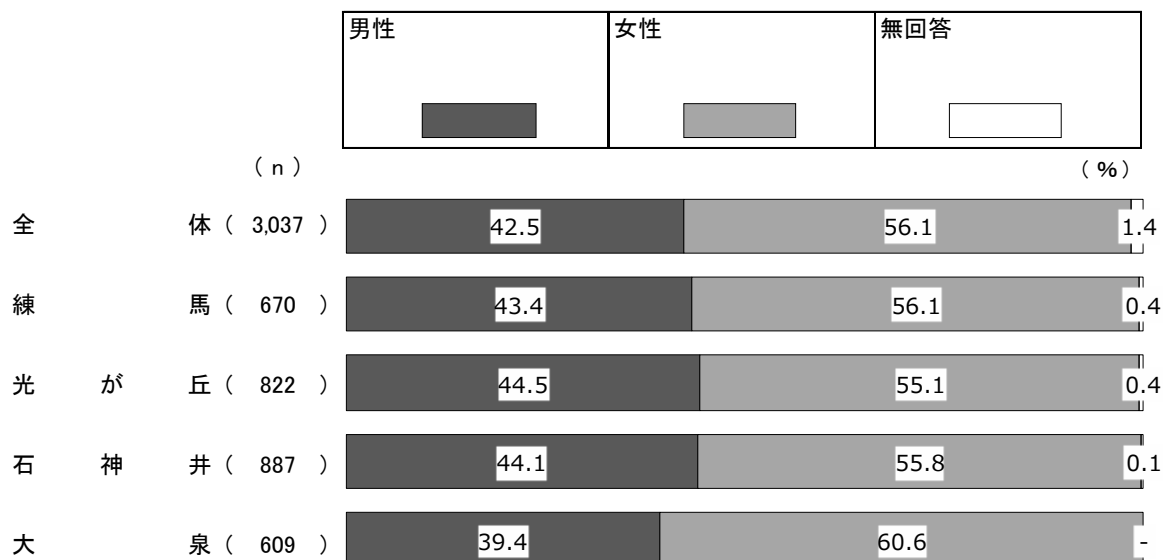
○いずれの地区でも、「あて名のご本人が記入」が8割から9割となっている。



(3) 性別

○全体では、「男性」が42.5%、「女性」が56.1%となっている。

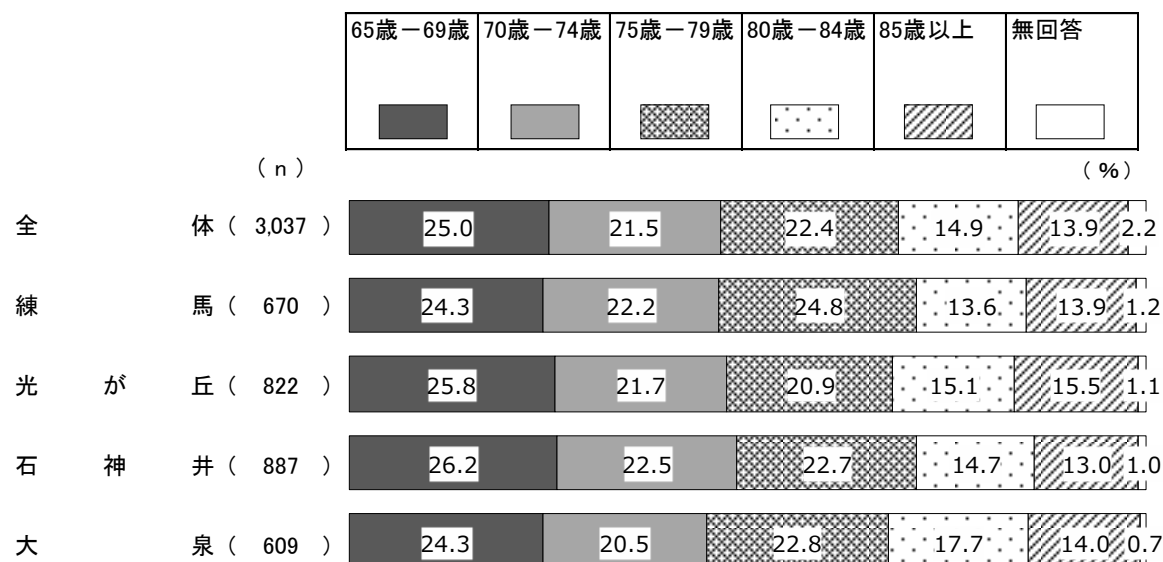
○いずれの地区でも、「男性」が3割から4割、「女性」が5割から6割となっている。



(4) 年齢

○全体では、「前期高齢者」（「65歳－69歳」と「70歳－74歳」の合計）は46.5%、「後期高齢者」（「75歳－79歳」、「80歳－84歳」、「85歳以上」の合計）は51.2%となっている。

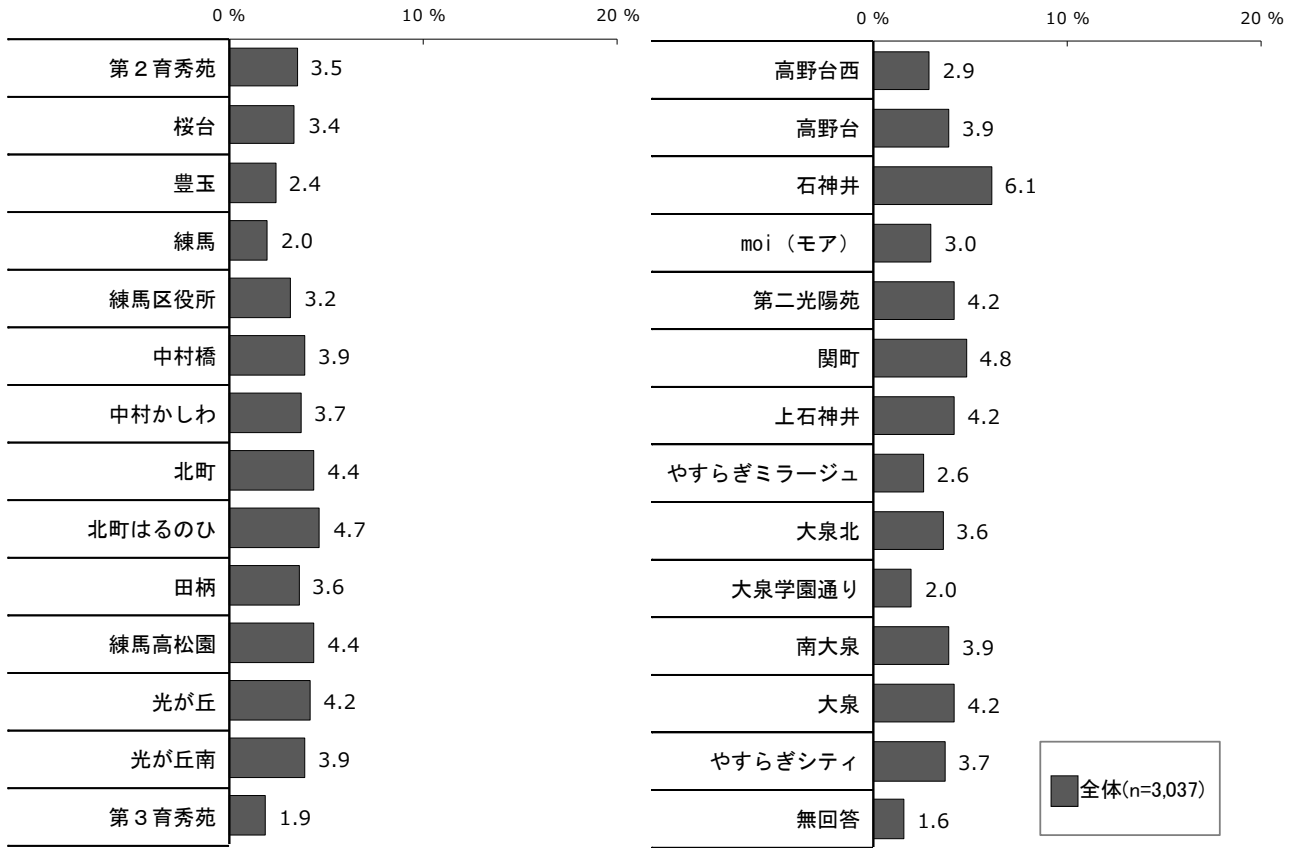
○いずれの地区でも、「前期高齢者」が4割台、「後期高齢者」が5割台となっている。



(5) 居住地区

①日常生活圏域

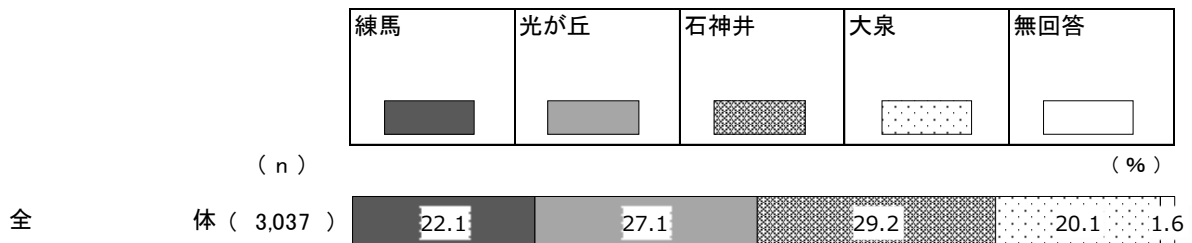
○「石神井」(6.1%)が最も高く、次いで「関町」(4.8%)の順となっている。



※「第2育秀苑」は令和8年4月から「みらい青空」に名称が変更となる。

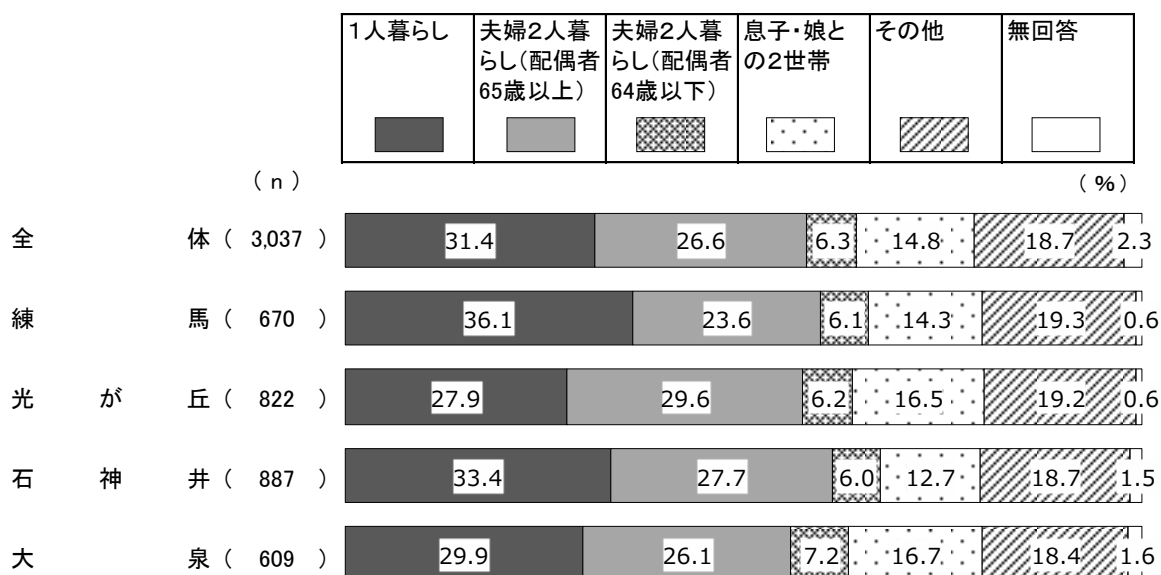
②基本地区

○「石神井」(29.2%)が最も高く、次いで「光が丘」(27.1%)の順となっている。



(6) 世帯の状況

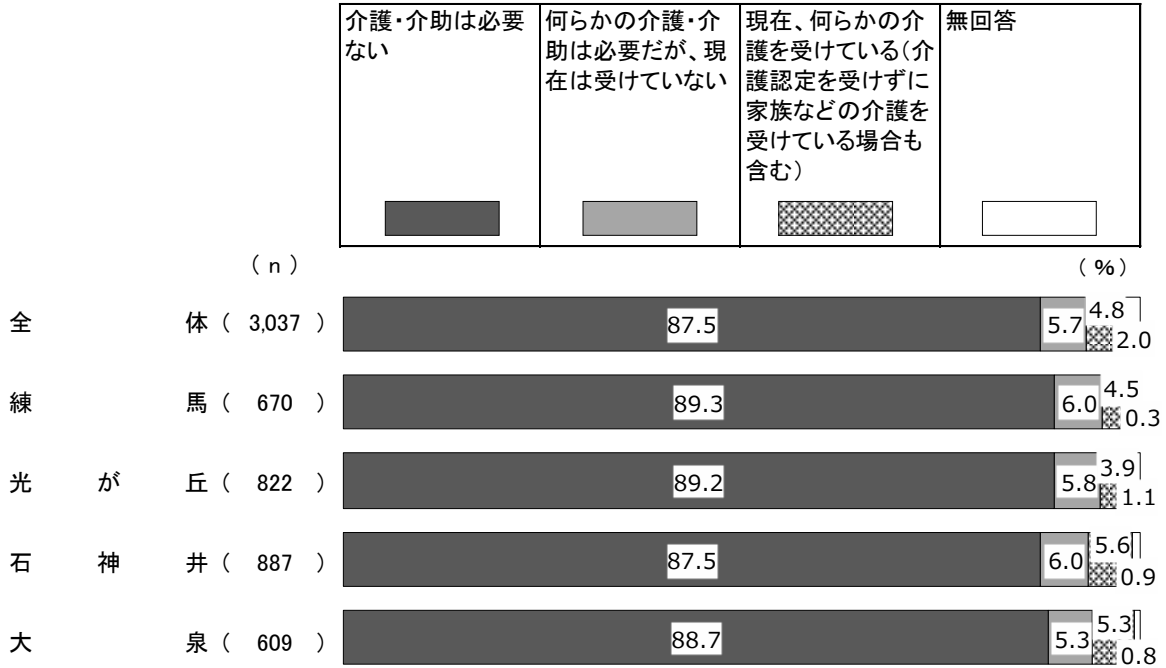
- 全体では、「1人暮らし」が31.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.3%、「息子・娘との2世帯」が14.8%となっている。
- 練馬では、「1人暮らし」が全体に比べて高く36.1%となっている。「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が23.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.1%、「息子・娘との2世帯」が14.3%となっている。
- 光が丘では、「1人暮らし」が27.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.2%、「息子・娘との2世帯」が16.5%となっている。
- 石神井では、「1人暮らし」が33.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が27.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.0%、「息子・娘との2世帯」が12.7%となっている。
- 大泉では、「1人暮らし」が29.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が7.2%、「息子・娘との2世帯」が16.7%となっている。



（7）介護・介助の必要性

○全体では、「介護・介助は必要ない」が87.5%、「何らかの介護・介助が必要」（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計）が10.5%となっている。

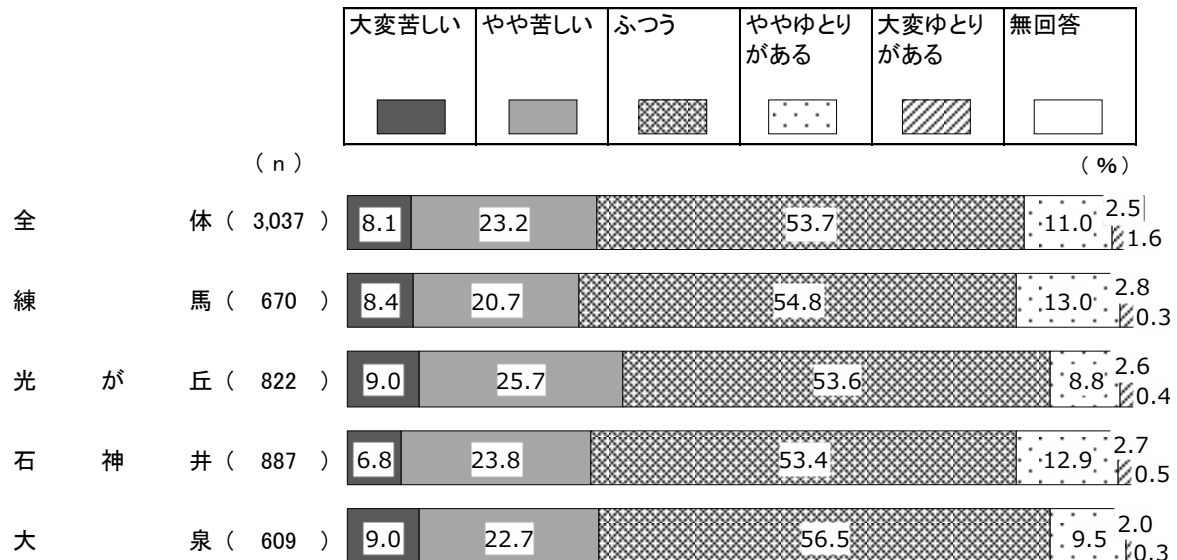
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



（8）暮らし向き

○全体では、「ふつう」が53.7%で最も高く、「苦しい」（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）が31.3%、「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）が13.5%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



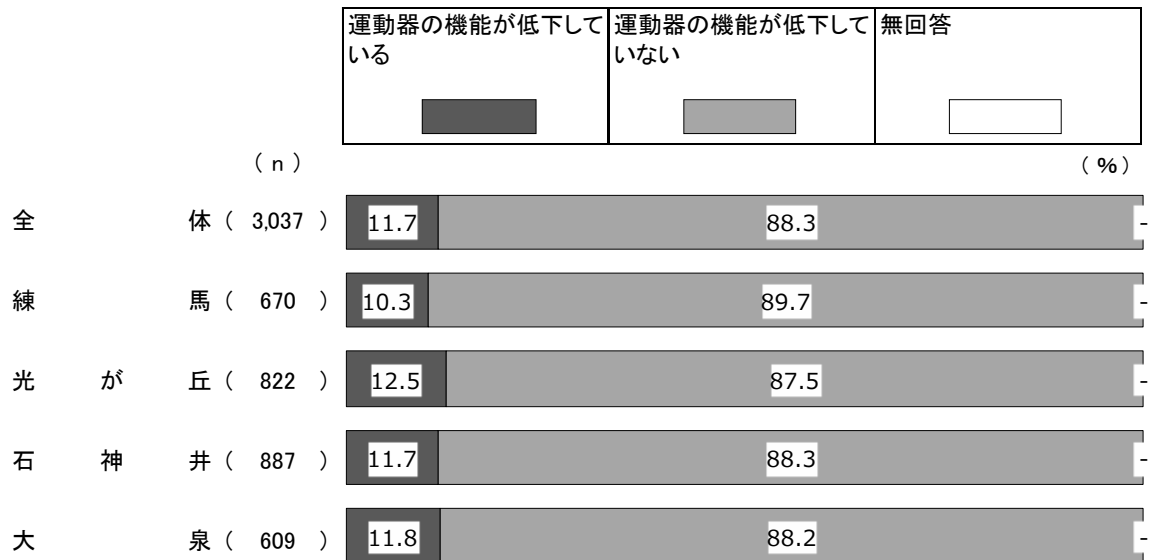
2. 日常生活の状況

(1) からだを動かすこと

①運動器の機能の低下

○全体では、運動器の機能が低下している人は、11.7%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



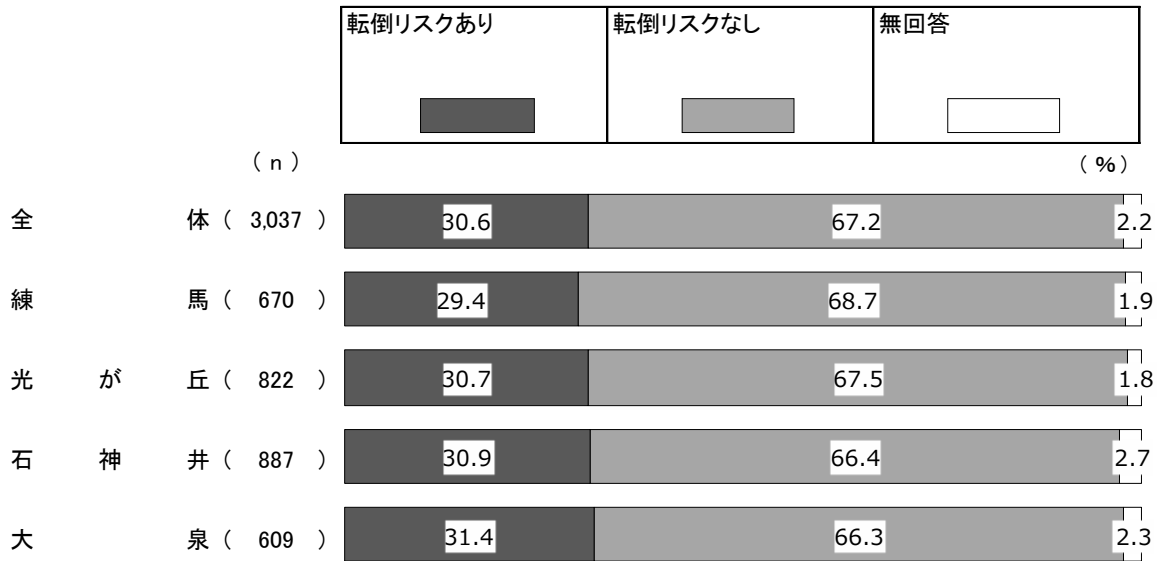
※ 下記の項目に、3つ以上該当する場合、“運動器の機能が低下している高齢者”としている

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない
- ・15分続けて歩くことができない
- ・過去1年間に転んだ経験が、何度もある、あるいは、1度ある
- ・転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である

②転倒リスク

○全体では、転倒リスクのある人は、30.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

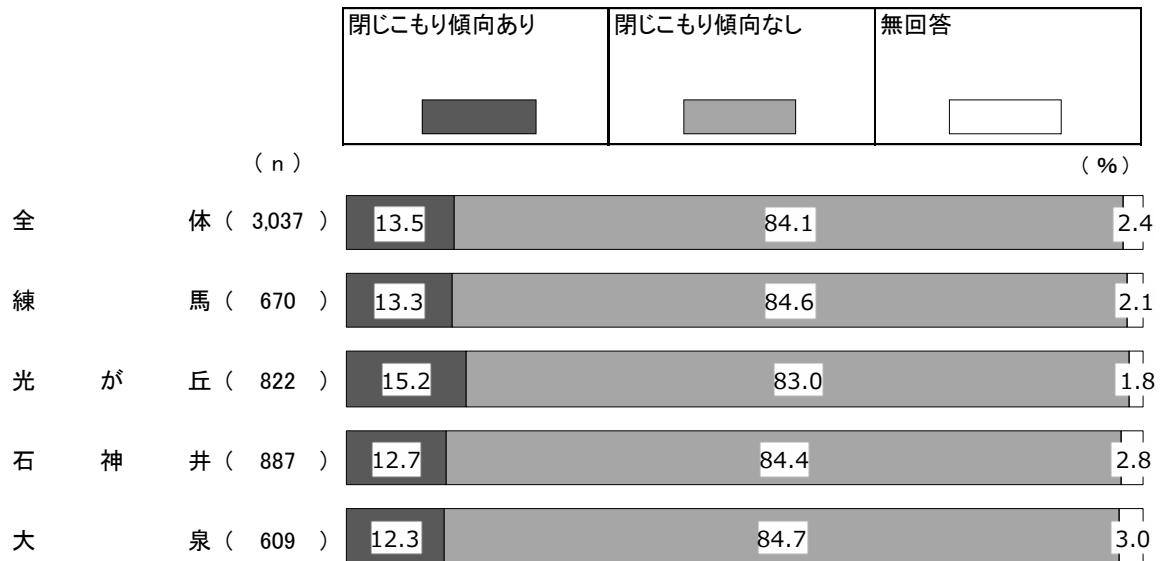


※ 過去1年間に転んだ経験が「何度もある」あるいは「1度ある」と回答した人を、“転倒リスクのある高齢者”としている

③閉じこもり傾向

○全体では、閉じこもり傾向のある人は、13.5%となっている。

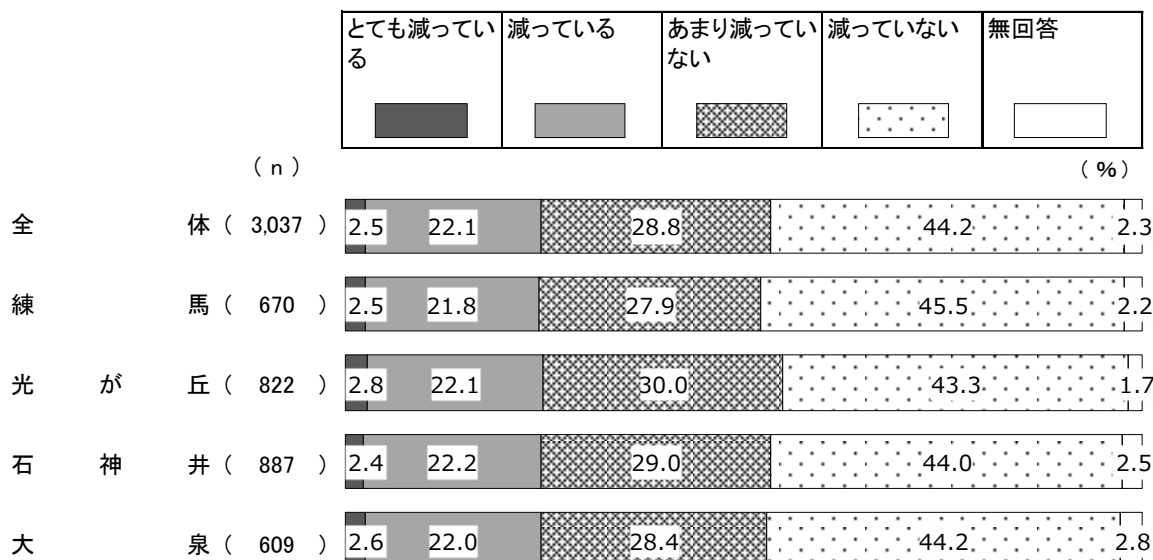
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



※ 外出の状況について、「ほとんど外出しない」あるいは「週1回外出する」と回答した人を、“閉じこもり傾向のある高齢者”としている

④外出回数の昨年との比較

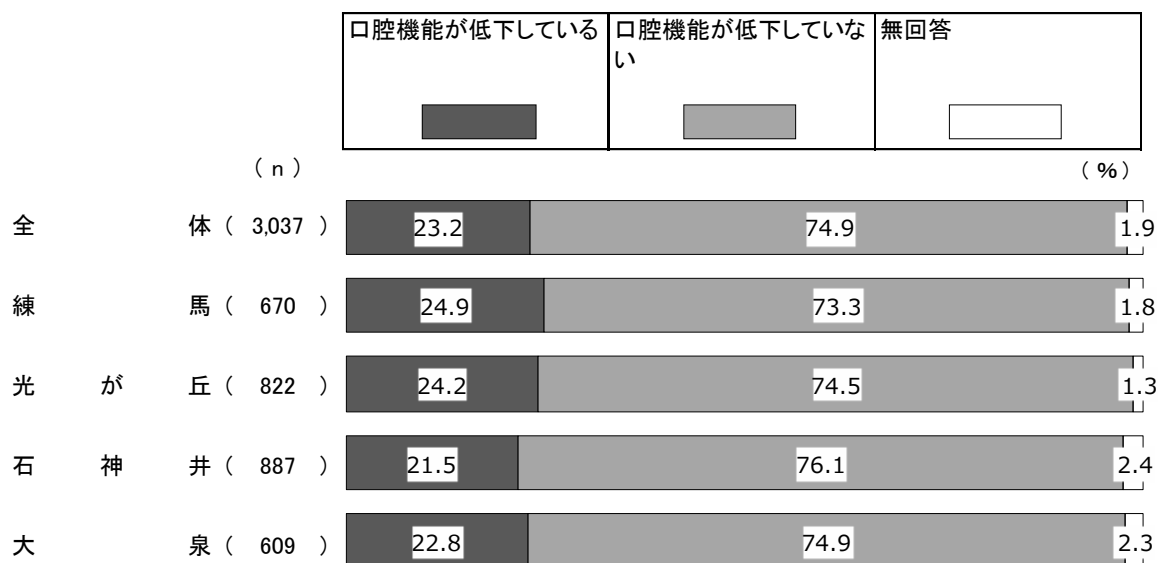
- 全体では、昨年と比べて外出の回数が“減っている”（「とても減っている」と「減っている」の合計）は24.6%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 食べること

①口腔機能の低下

- 全体では、口腔機能が低下している人は、23.2%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



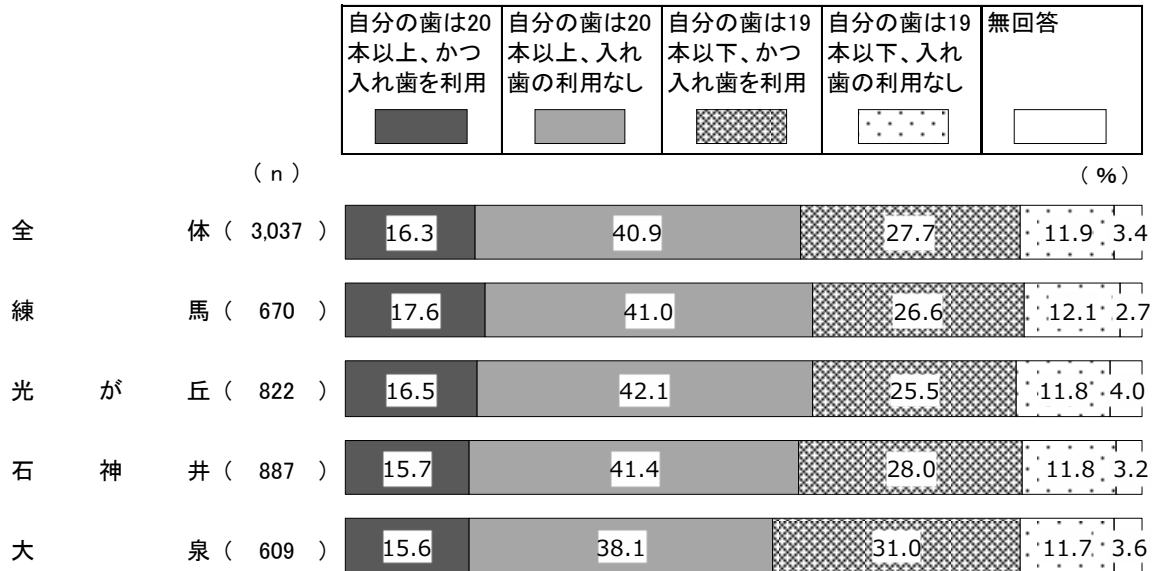
※ 下記の項目に、2つ以上該当する場合、“口腔機能が低下している高齢者”としている

- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなった
- ・お茶や汁物等でむせることがある
- ・口の渇きが気になる

②歯の数と入れ歯の使用

○全体では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.3%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.9%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.9%となっている。

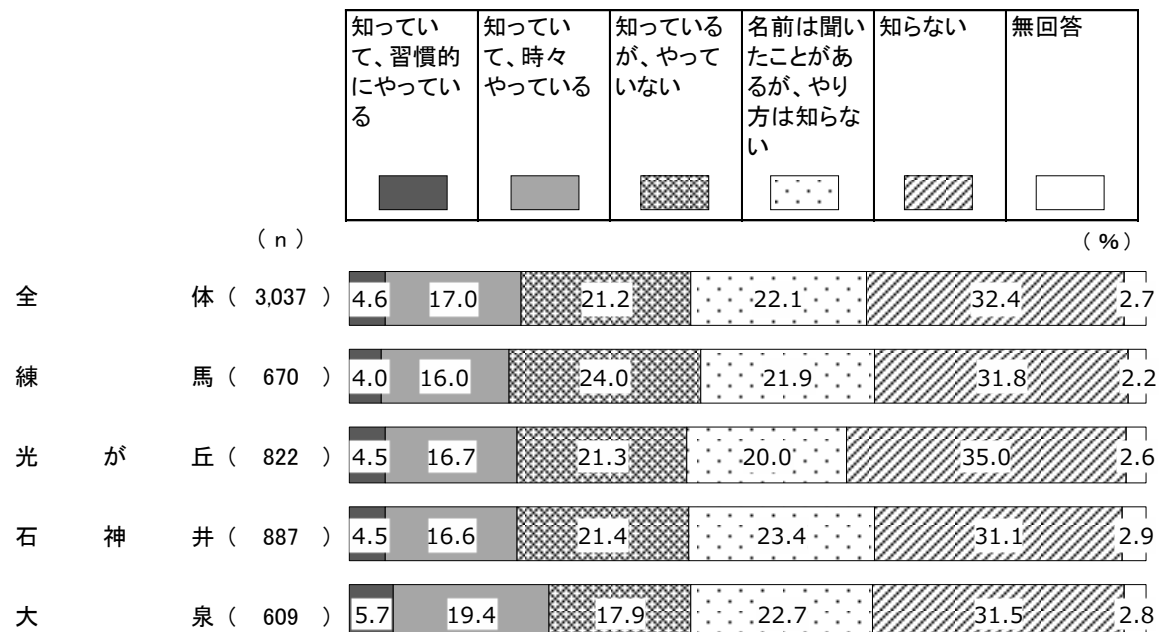
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



③口腔ケアの方法の認知度

○全体では、口の体操・だ液腺マッサージなどの口腔ケアの方法について、「知っていて、習慣的にやっている」が4.6%、「知っていて、時々やっている」が17.0%、「知っているが、やっていない」が21.2%、「名前は聞いたことがあるが、やり方は知らない」が22.1%、「知らない」が32.4%となっている。

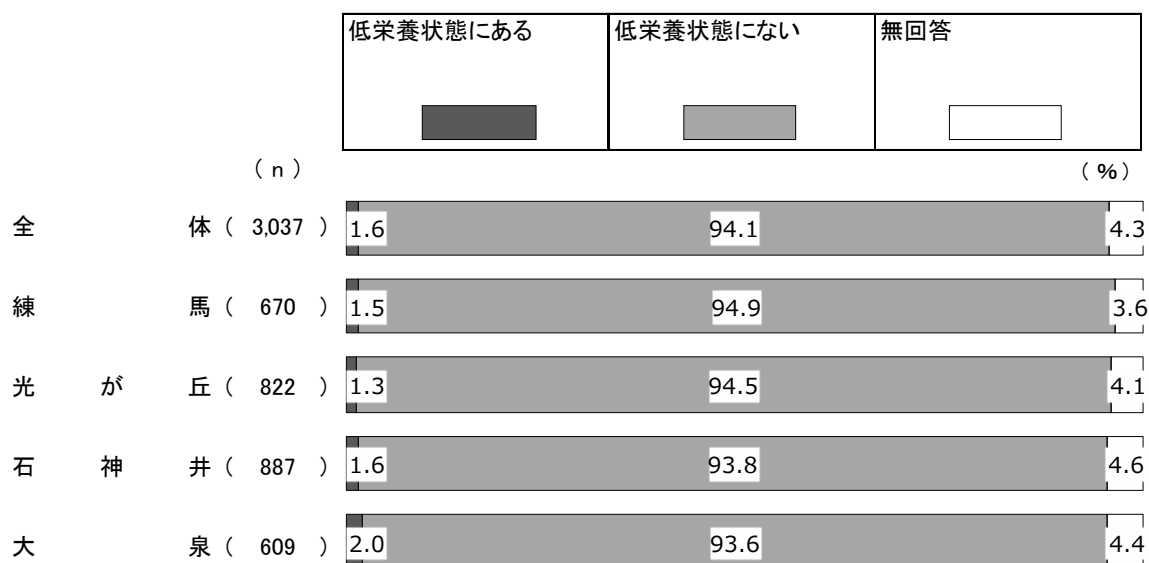
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



④低栄養の傾向

○全体では、低栄養状態にある人は、1.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



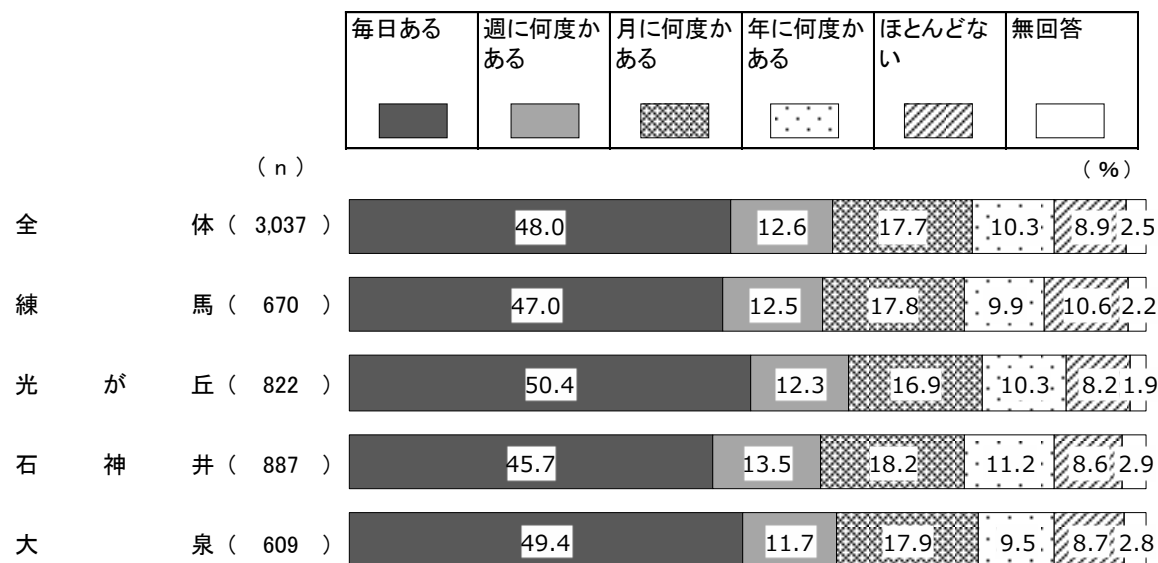
※ 下記の2項目に該当する場合、“低栄養状態にある高齢者”としている

- ・身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))) が18.5以下
- ・6か月間で2～3kg以上の体重減少があった

⑤誰かと食事をとにもする機会

○全体では、誰かと食事をとにもする機会が「毎日ある」は48.0%、「週に何度かある」は12.6%となっている。一方、「ほとんどない」は8.9%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

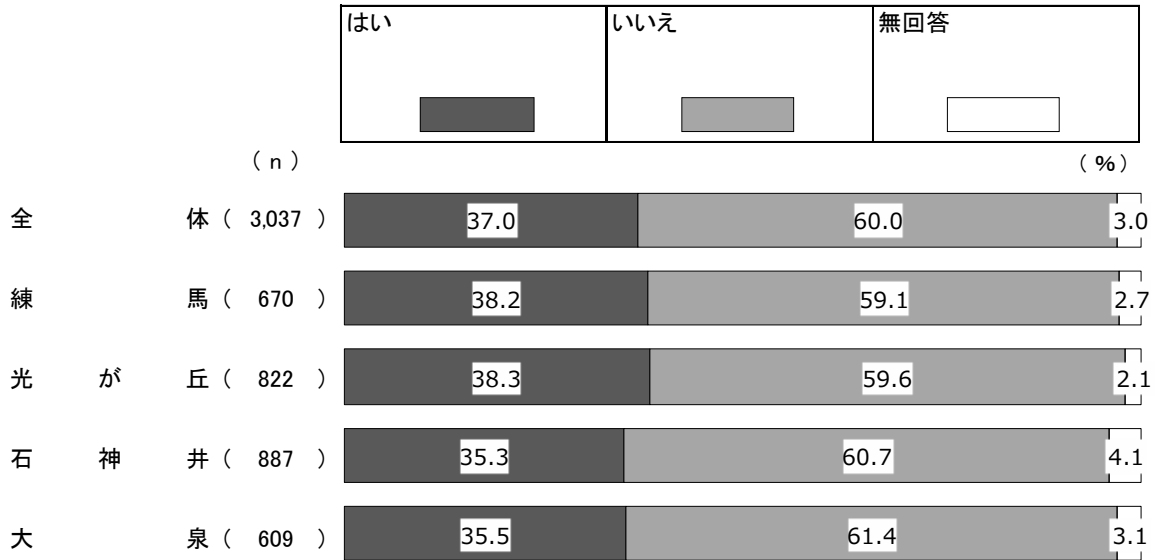


（3）毎日の生活

①物忘れの様子

○全体では、物忘れが多いと感じる人は、37.0%となっている。

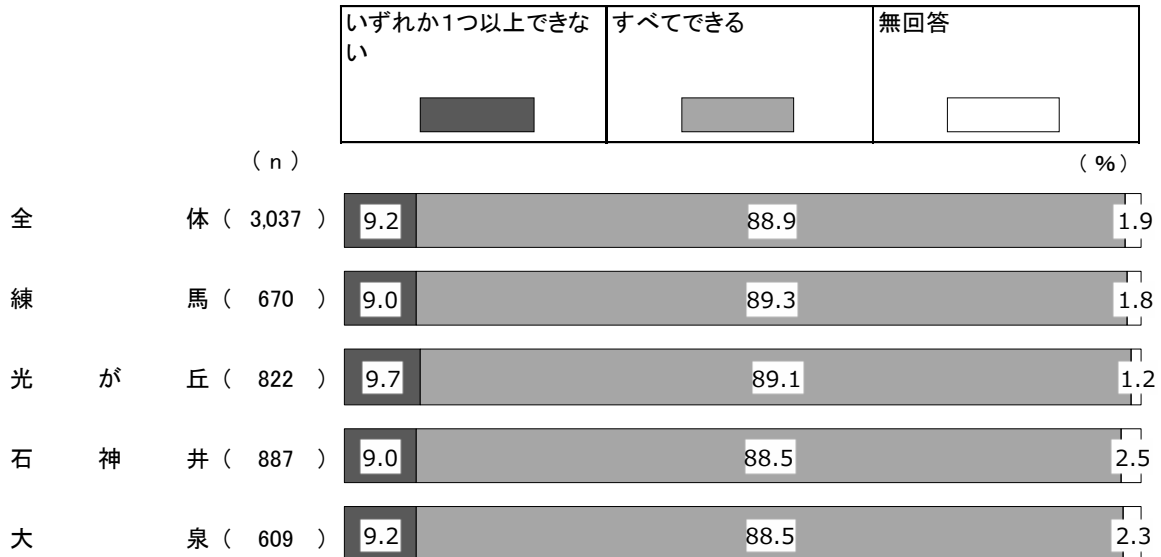
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



②日常生活の自立状況

○全体では、「いずれか1つ以上できない」人は、9.2%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



※ 以下の5項目のいずれかについて「できない」と回答した人を「いずれか1つ以上できない」、5項目全てについて「できるし、している」あるいは「できるけどしていない」と回答した人を「すべてできる」に分類した

- ・バスや電車を使って1人で外出すること
- ・自分で食品・日用品の買い物をする
- ・自分で食事の用意をする
- ・自分で請求書の支払いをする
- ・自分で預貯金の出し入れをする

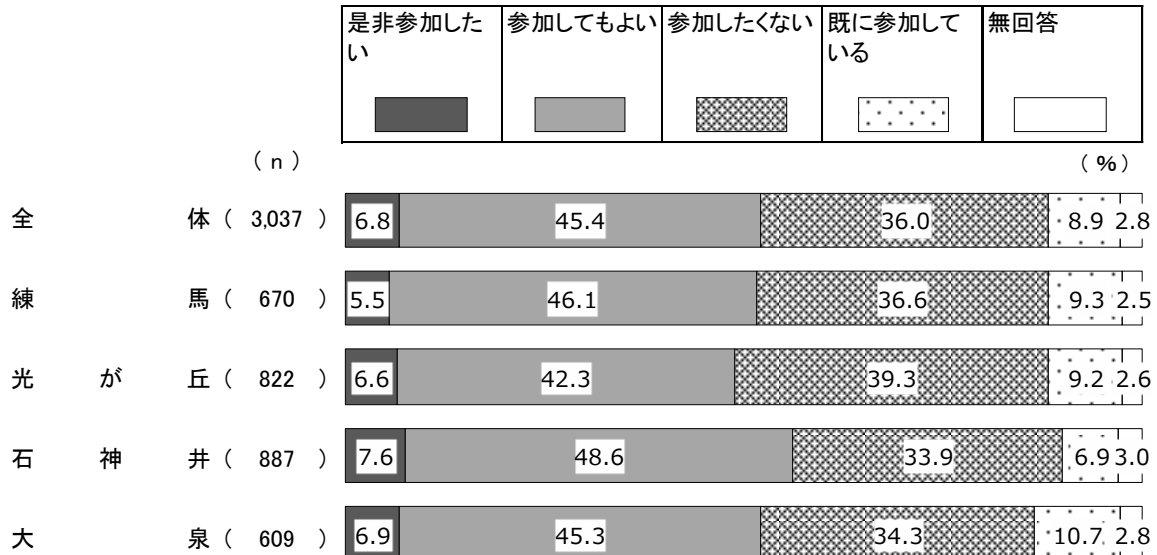
3. 地域活動とたすけあい

(1) 地域づくりの推進

①参加者としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が6.8%、「参加してもよい」が45.4%、「参加したくない」が36.0%となっている。「既に参加している」は8.9%となっている。

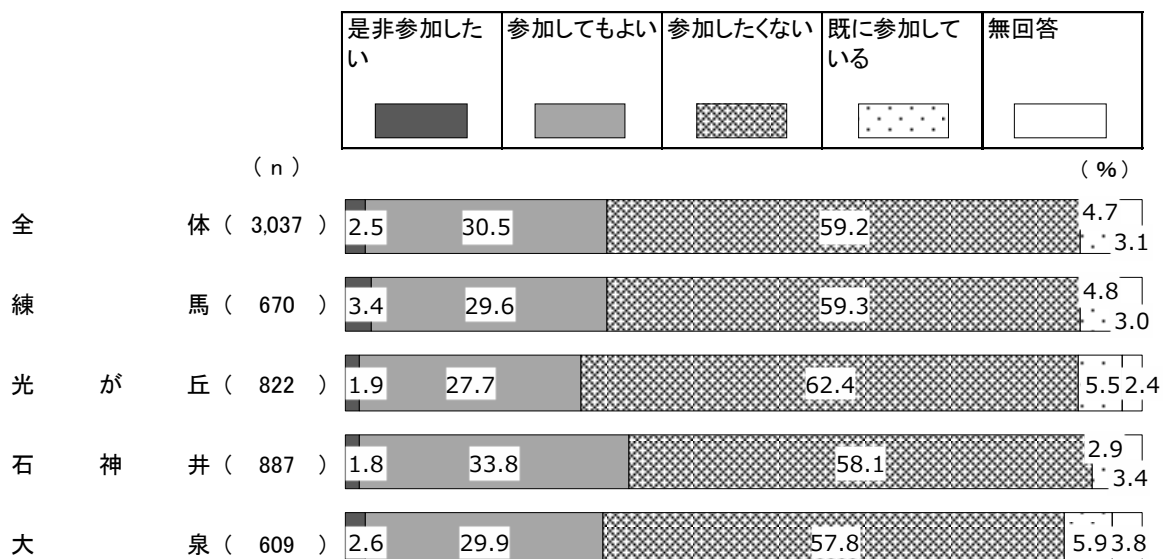
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



②企画・運営（お世話役）としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が2.5%、「参加してもよい」が30.5%、「参加したくない」が59.2%となっている。「既に参加している」は4.7%となっている。

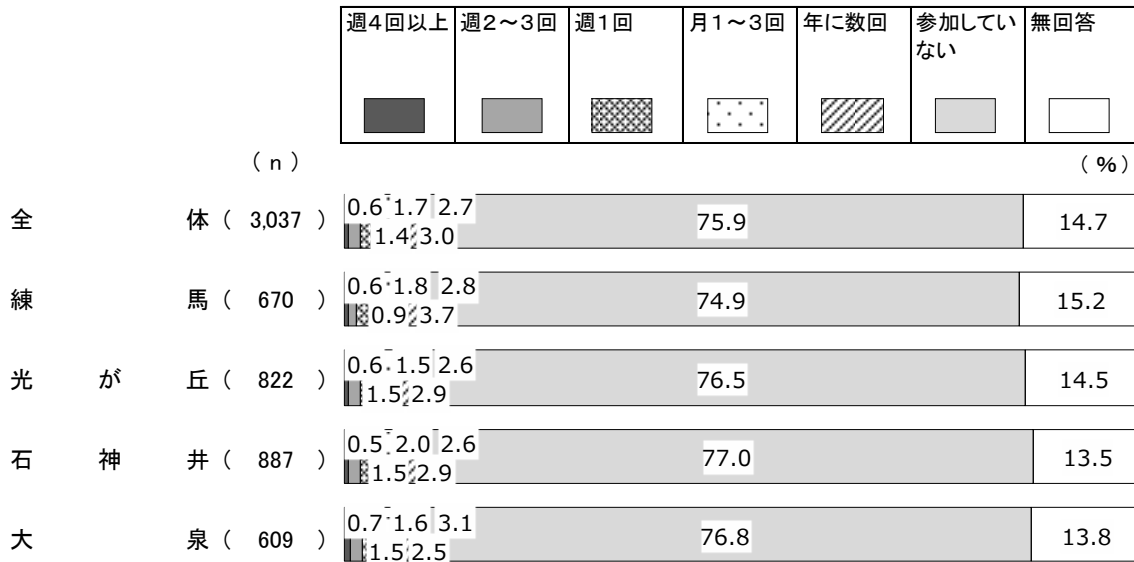
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



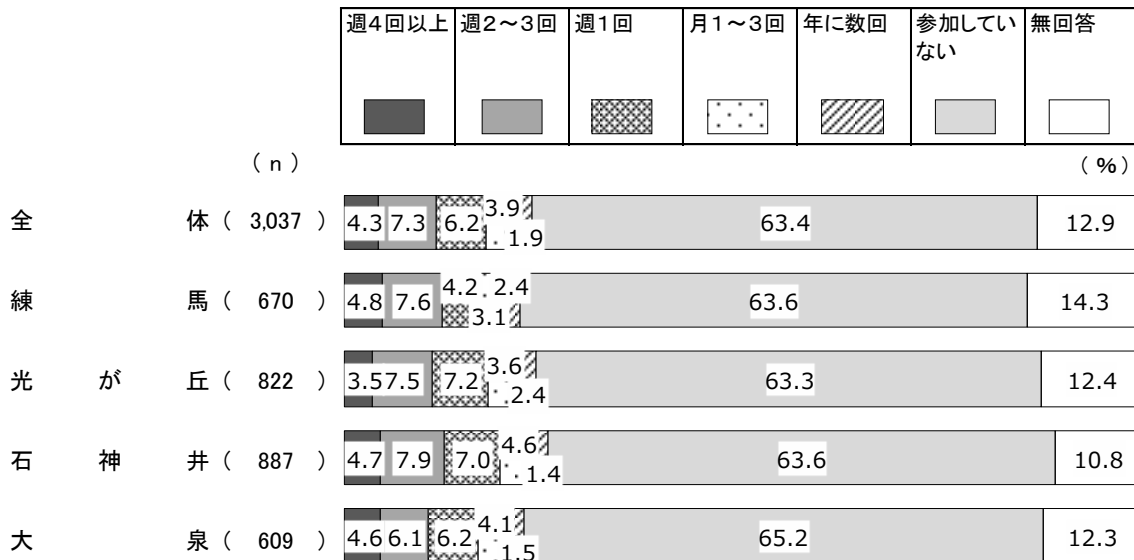
(2) 地域活動への参加状況

○全体では、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」、「収入のある仕事」は、「参加している」（「参加していない」と無回答を除く）が全体で2割から3割となっている。

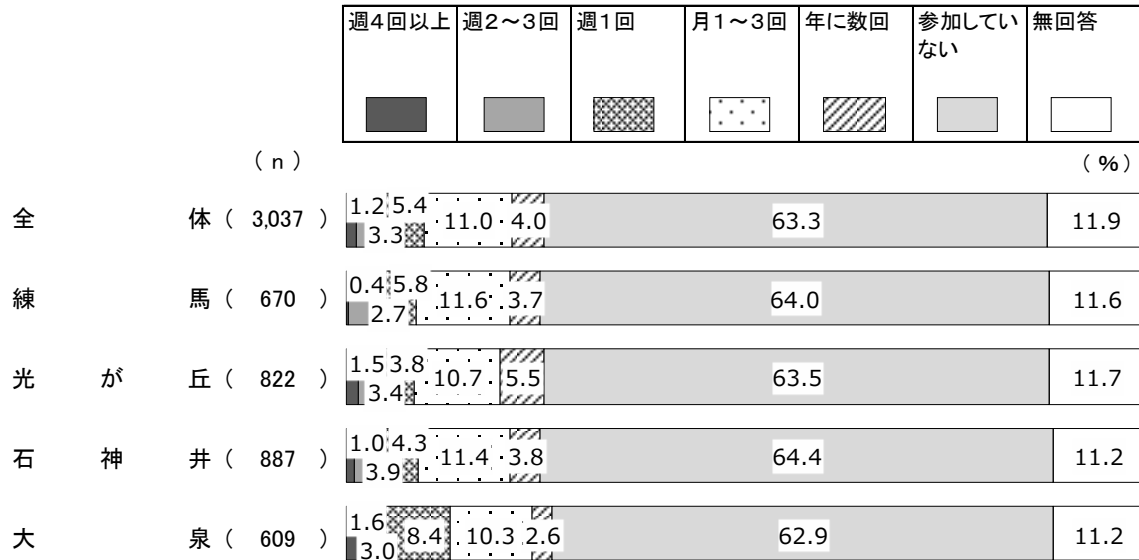
ボランティアのグループ



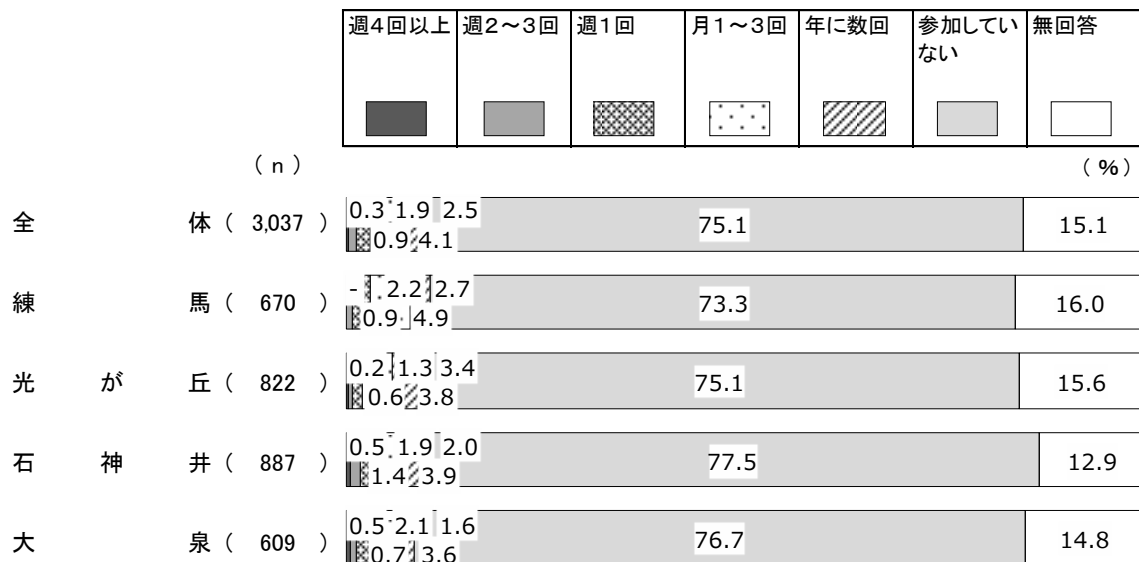
スポーツ関係のグループやクラブ



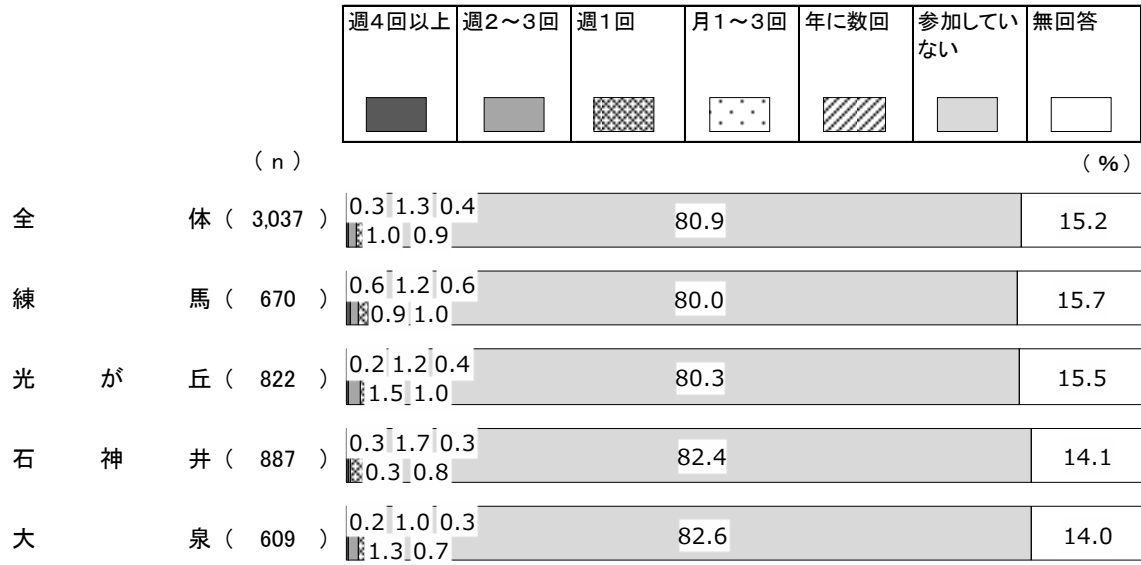
趣味関係のグループ



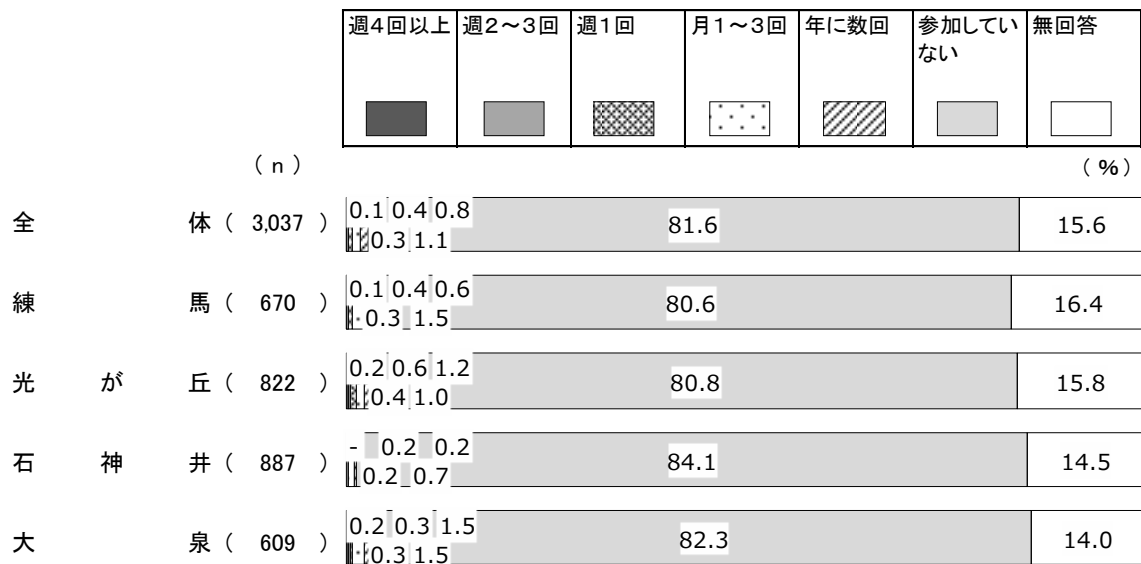
学習・教養サークル



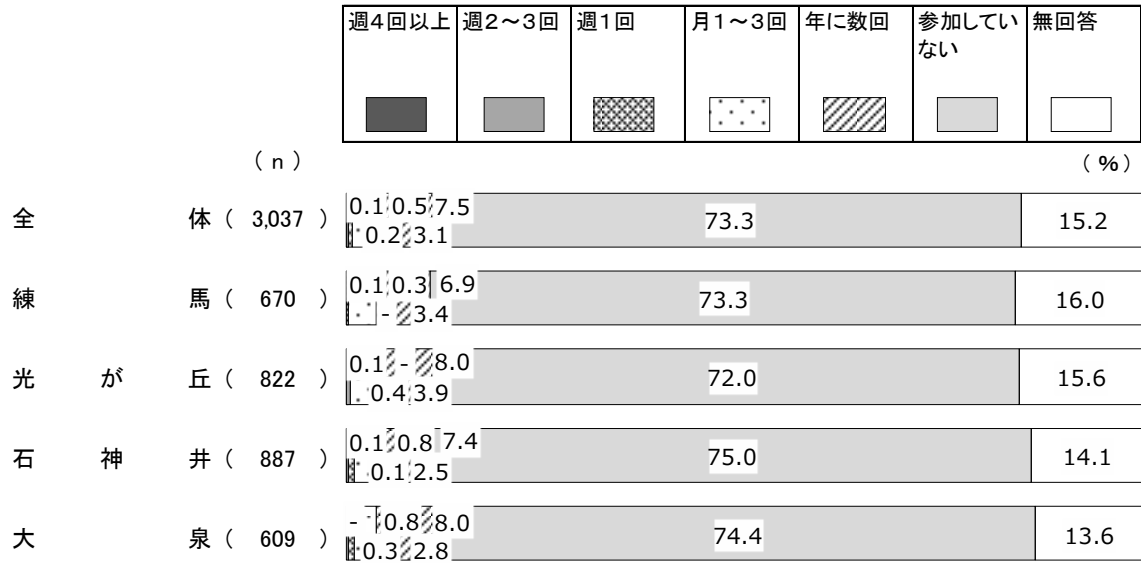
介護予防のための通いの場



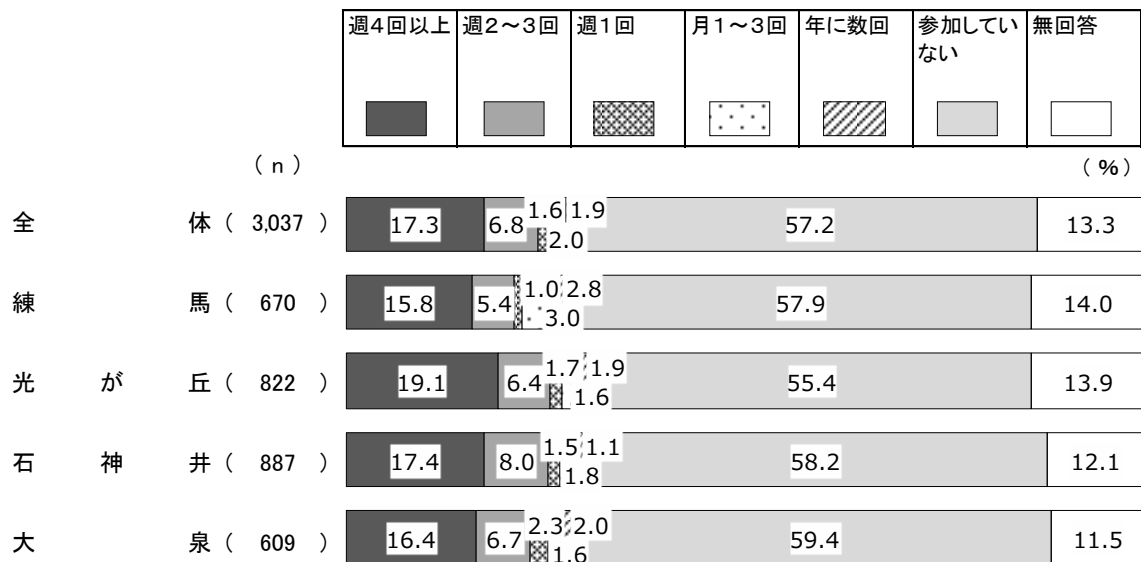
老人クラブ



町内会・自治会



収入のある仕事



(3) たすけあい

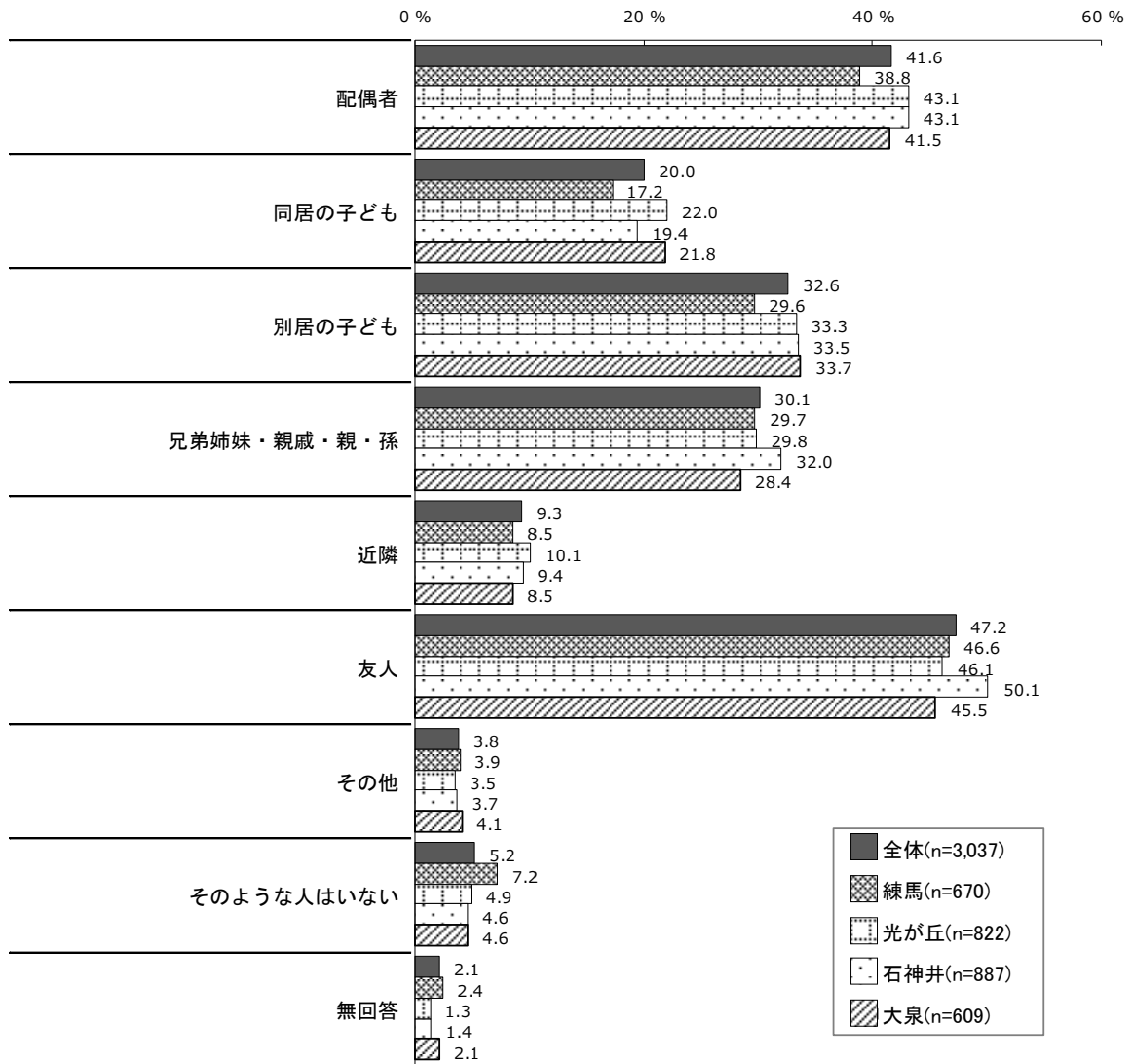
①心配事や愚痴を聞いてくれる人

○全体では、「友人」(47.2%)が最も高く、次いで「配偶者」(41.6%)の順となっている。

一方、「そのような人はいない」は5.2%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)



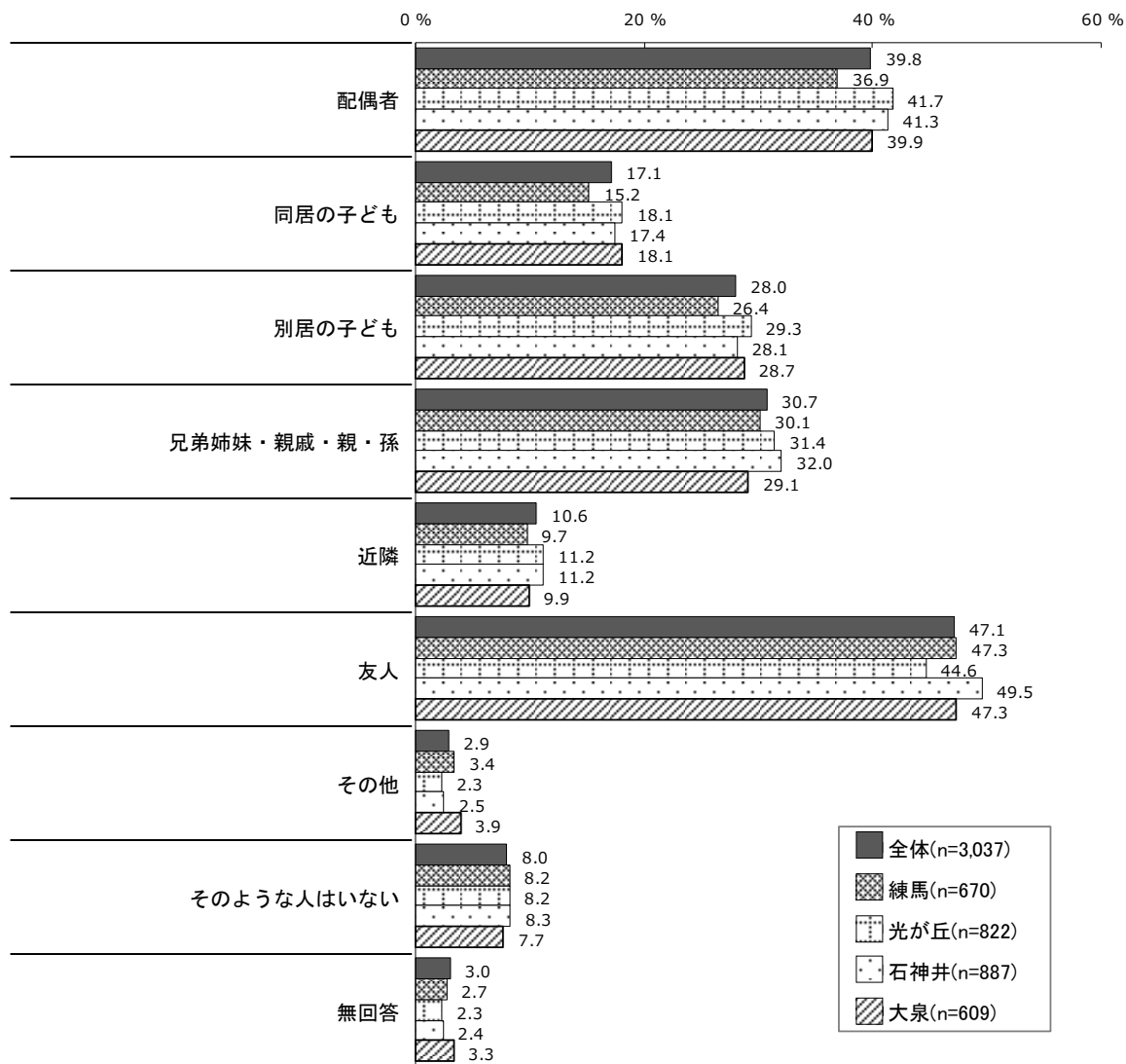
②心配事や愚痴を聞いてあげる人

○全体では、「友人」(47.1%)が最も高く、次いで「配偶者」(39.8%)の順となっている。

一方、「そのような人はいない」は8.0%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

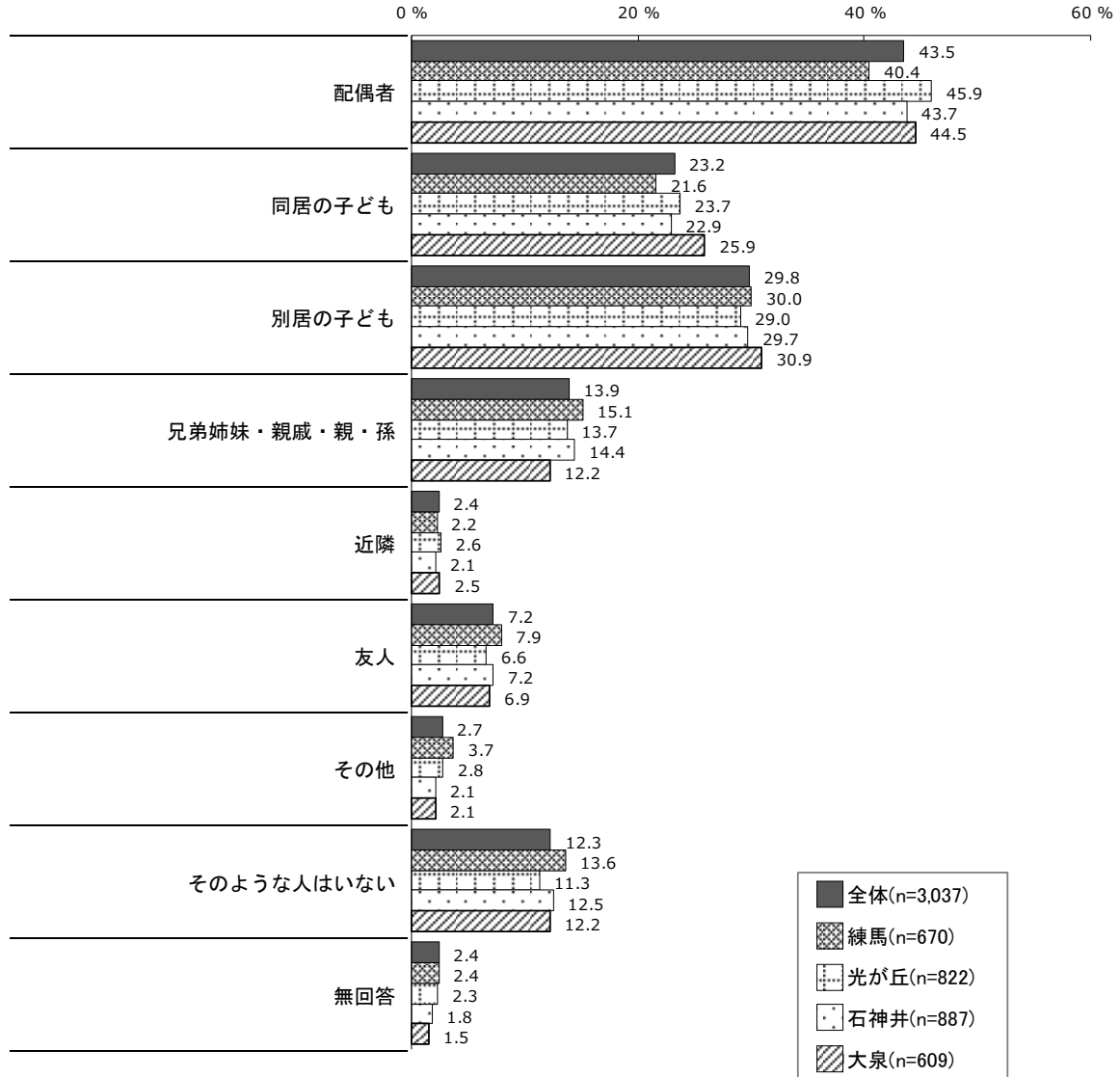


③看病や世話をしてくれる人

○全体では、「配偶者」(43.5%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(29.8%)の順となっている。一方「そのような人はいない」は12.3%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

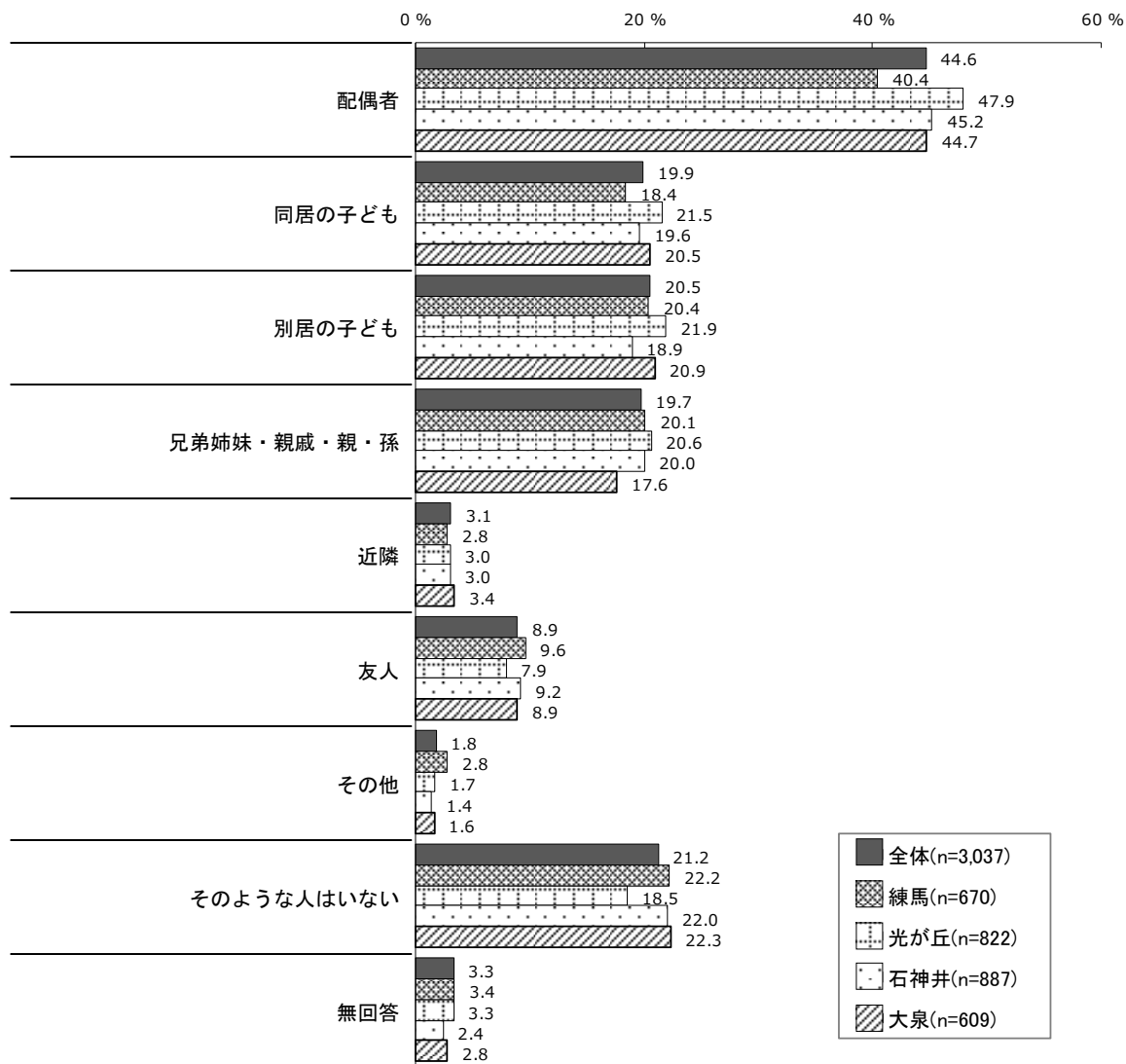


④看病や世話をしている人

○全体では、「配偶者」(44.6%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(20.5%)の順となっている。一方、「そのような人はいない」は21.2%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

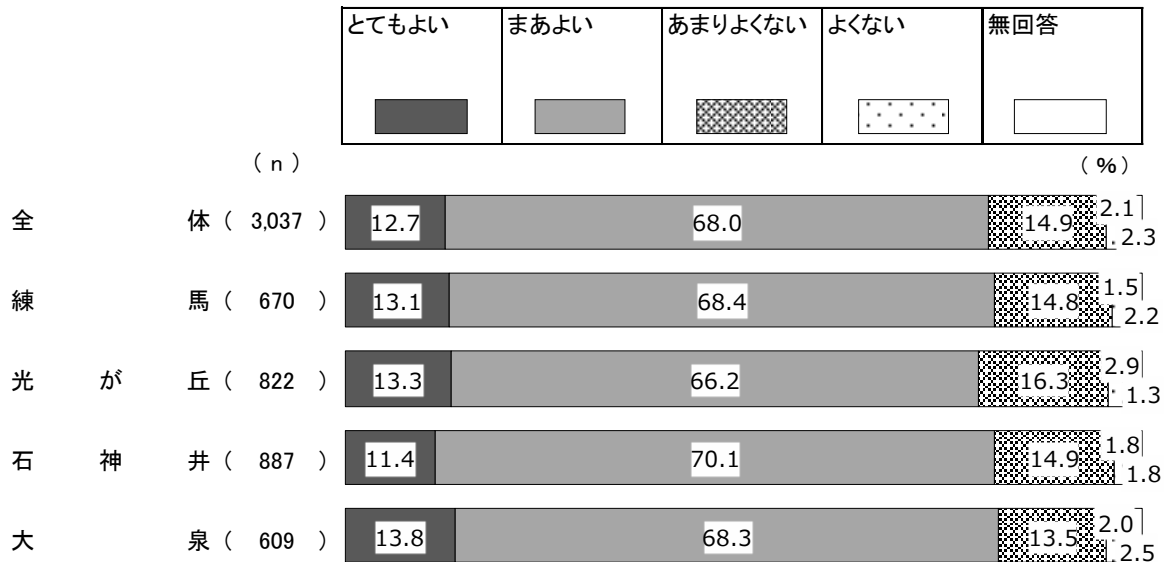


4. 健康

(1) 健康状態

○全体では、“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が80.7%、“よくない”（「あまりよくない」と「よくない」の合計）が17.0%となっている。

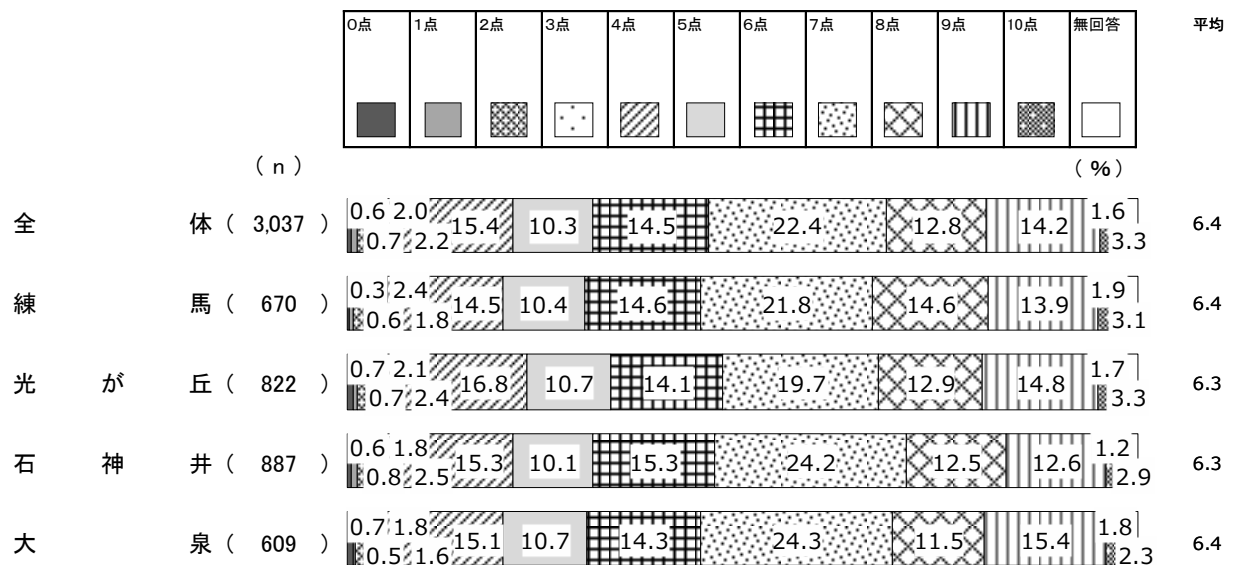
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 幸福度

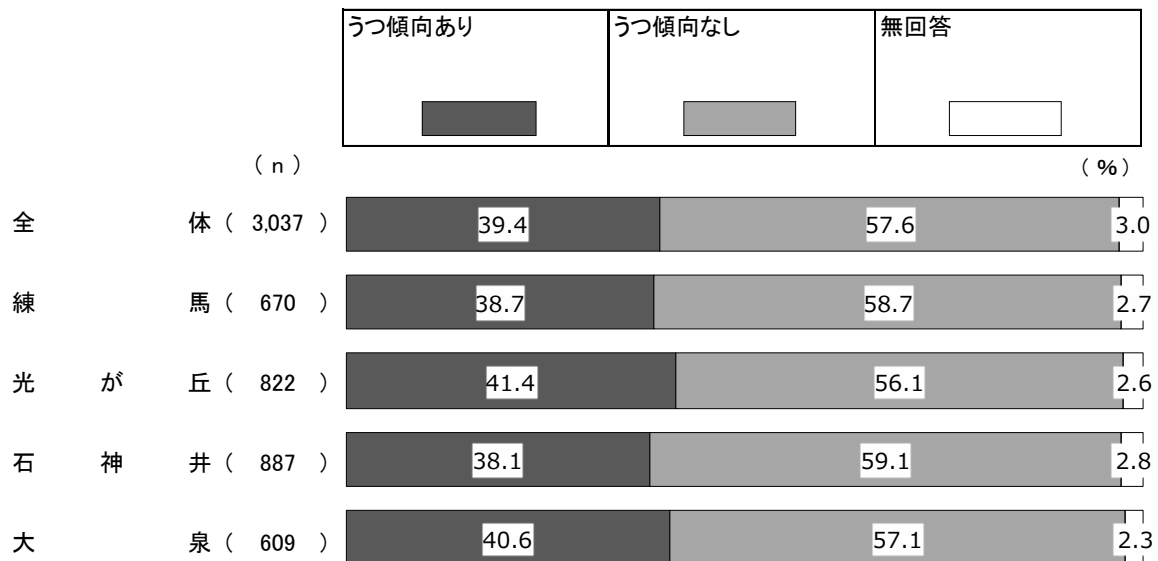
○全体では、「7点」（22.4%）が最も高く、次いで「4点」（15.4%）の順となっている。“平均”は6.4点となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(3) うつ傾向

- 全体では、うつ傾向のある人は39.4%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

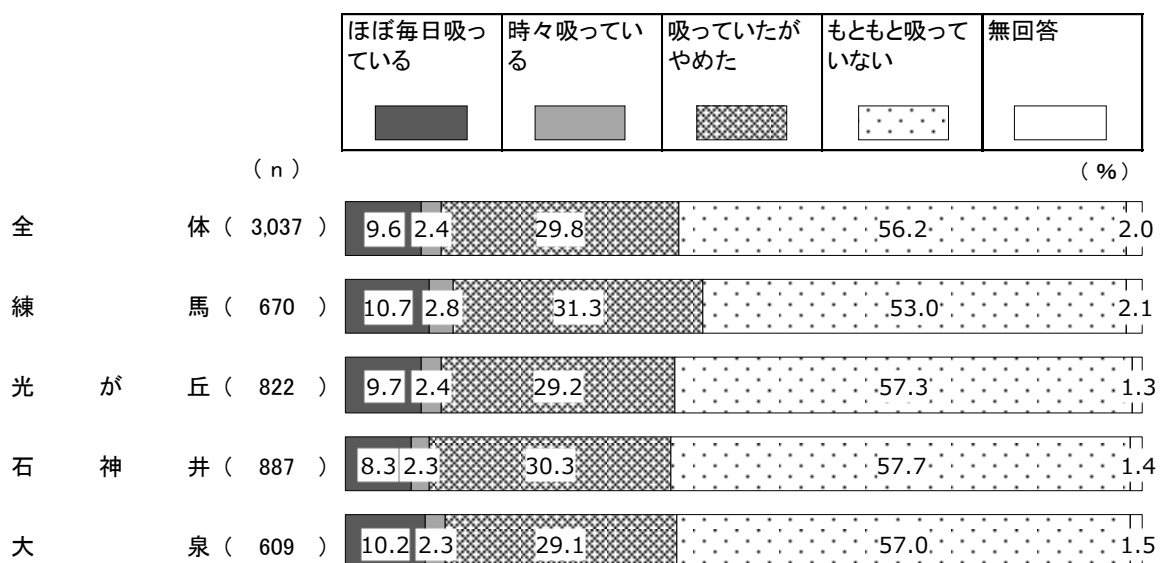


※ 下記の項目に、1つ以上該当する場合、“うつ傾向のある高齢者”としている

- ・この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった
- ・この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった

(4) 喫煙の状況

- 全体では、「ほぼ毎日吸っている」は9.6%、「時々吸っている」は2.4%となっている。
- 「吸っていたがやめた」は29.8%、「もともと吸っていない」は56.2%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

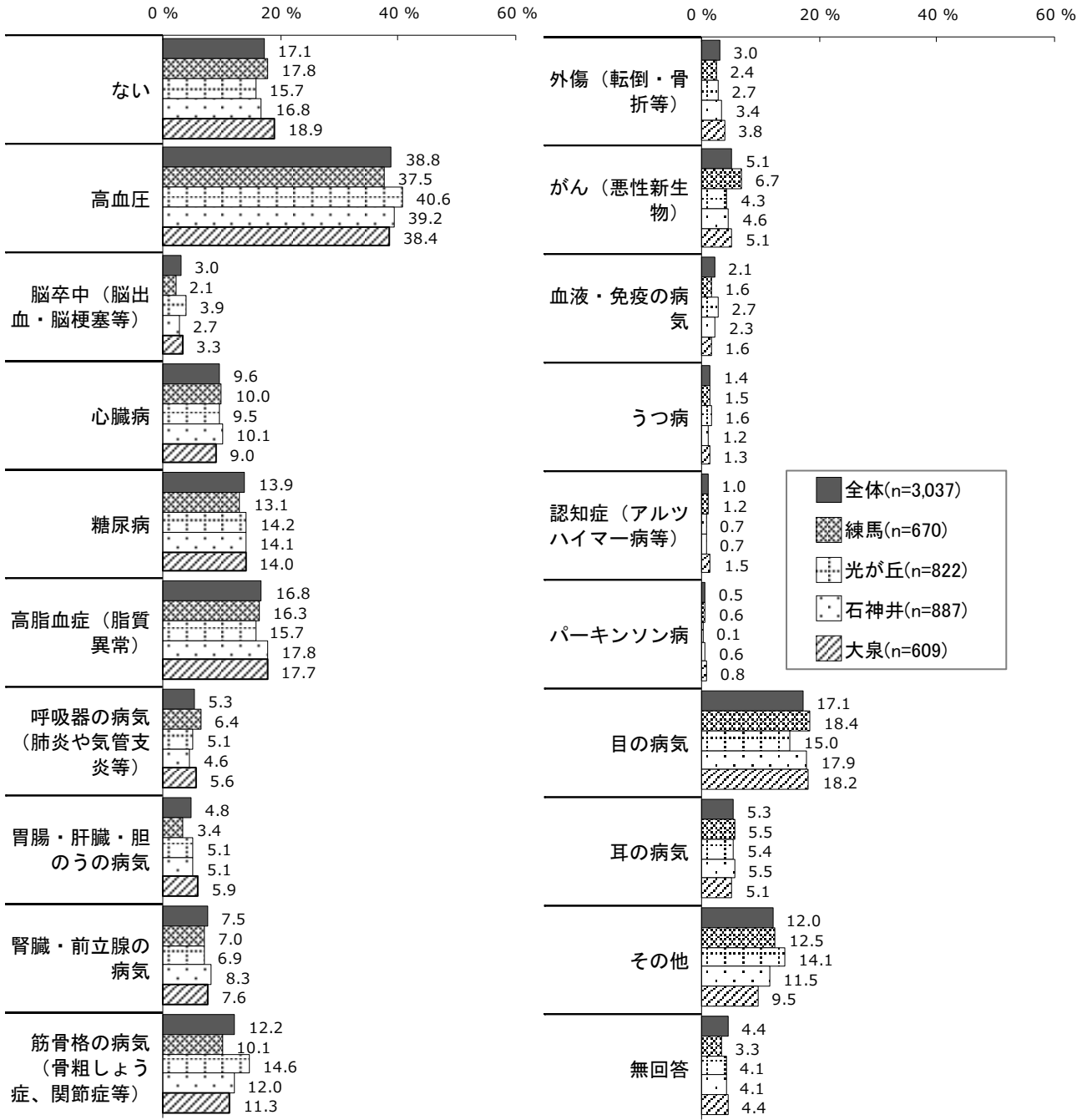


(5) 現在治療中・後遺症のある病気

○全体では、「高血圧」(38.8%)が最も高く、次いで「目の病気」(17.1%)の順となっている。一方、「ない」は17.1%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

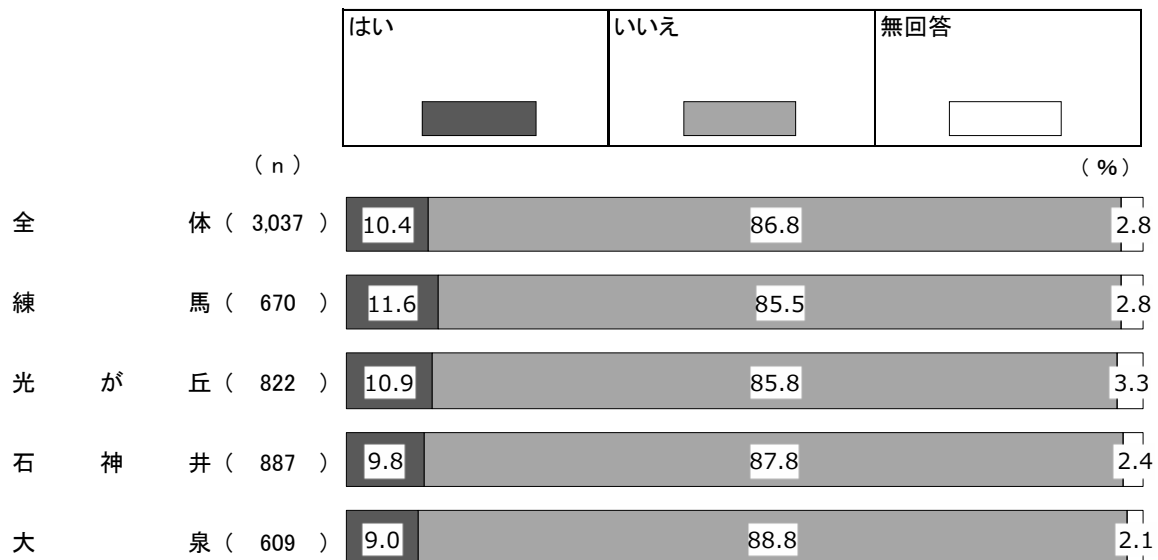


5. 認知症の相談窓口

(1) 認知症の症状がある人の有無

○全体では、認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいると回答した人（「はい」と回答した人）は10.4%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

○全体では、認知症に関する相談窓口を知っている人（「はい」と回答した人）は29.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

